

## 総合的な学習の時間 「やさしい時間」

横須賀市立城北小学校



### 単元（題材）目標

○初歩の手話を学びながら、耳の不自由な人の生活やコミュニケーションの方法について知り、私たちにできることを考える。

### （１）実施時期

令和元年 6 月

### （２）対象（学年等・人数）

第 4 学年 93 名

### （３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第 4 学年担任 3 名 特別支援級担任 1 名

外部講師：横須賀市聴覚障害者協会・横須賀手話指導勉強会より 4 名

### （４）実施内容

- ①健常者と聴覚障がいを持つ方に教室に来てもらい、見た目どちらの方が聴覚に障がいがあるのかを判断する。  
⇒聴覚障がいを持つ方は、周りの方に気付かれにくいということを知る。
- ②日常生活の中で、周りに聞こえてくる音を発表する。  
⇒周りの音がすべて聞こえなかったら、生活の中で困ることについて考える。
- ③聴覚障がいを持つ方が日常の生活の中で困ることを知る。  
⇒「光」や「振動」で知らせる道具を使うなどの工夫をしていることを知る。
- ④聴覚障がいを持つ方とのコミュニケーションの方法について考える。  
⇒身ぶり・手ぶり、筆談、口話、筆談、空書、指文字などがあることを知る。
- ⑤口話や身ぶりで言葉をあてるゲームをしたり、手話のあいさつや自分の名前を指書きでし  
たりとコミュニケーションをとる方法を体験した。
- ⑥講師の先生から、子どもたちでも手助けできることをお話していただいた。

### （５）成果

- 聴覚に障がいを持つ方の生活の様子について、ご本人たちから話を聞いたことで、その様子が実感でき、自分たちにできることを考えるきっかけとなった。
- 教えていただいた手話や指書きなどにも興味を持ち、手話を使った歌に挑戦したり、集会の際に全校で紹介したりと積極的に活動できた。

### （６）その他

- 車いす体験、視覚障がいを持つ方とのふれあい、視覚障がいを持つ方の誘導體験、盲導犬の学習なども行い、様々な立場の方の思いにふれることで、自分たちにできることを考えそれを実行する活動につながった。